

基地関係特別委員会 会議録（要旨）

○ 開催年月日 令和2年4月17日（金）

午前9時33分 開会

午前9時43分 閉会

○ 場 所 第3常任委員会室

○ 出席委員（9名）

委員長	知名康司
委員	平安座武志
委員	真喜志晃一
委員	上里広幸
委員	石川慶

副委員長	桃原功
委員	桃原朗
委員	栄田直樹
委員	宮城克

議長	上地安之
----	------

○ 欠席委員（0名）

○ 委員外議員（0名）

○ 説明員（0名）

○ 議会事務局職員出席者（2名）

庶務課長	仲村厚子
------	------

主任主事	渡嘉敷真
------	------

○ 協議案件

普天間飛行場から泡消火剤が漏出した事故について

基地関係特別委員会 会議録（要旨）

令和2年4月17日（金）

○知名康司 委員長 ただいまから基地関係特別委員会を開会いたします。

（開会時刻 午前9時33分）

【協議事項】

普天間飛行場から泡消火剤が漏出した事故の取り扱いについて

○知名康司 委員長 先日の委員会において県内6カ所への直接要請行動を行うことに決したが、調整を行ったところ、普天間航空基地司令官への要請については、第三海兵遠征軍司令官・沖縄地域調整官への要請の際にあわせて行っていただきたいとの申し入れがあった。また、在沖米国総領事は、先日から体調不良が続いており、面会を制限していることから対応が難しいとのことであった。さらに、他要請先からも今般の新型コロナウイルス感染拡大防止のため、人数を制限していただきたいとの要望もあった。

新型コロナウイルス感染拡大防止については、全国に緊急事態宣言が発令されたことに加え、県議会が本会議を行わず、「普天間飛行場から発がん性が指摘されている有機フッ素化合物P F O Sを含む大量の泡消火剤が宜野湾市内に漏出した事故に抗議する委員長声明」を発表するなどの対応を行っている。

については、沖縄防衛局長、第三海兵遠征軍司令官・沖縄地域調整官及び普天間航空基地司令官へは直接要請し、残りは郵送対応とすることにしたい。また、要請者についても、議長及び正・副委員長の3名としたいが、各委員の御意見を伺いたい。

○平安座武志 委員 市内の河川にP F O Sを含む泡消火剤が漏出した。河川の管理は本来、県の管轄であるため県に直接要請するべきと考えるが、各委員が同意するのであれば致し方ない。

○桃原功 委員 事故発生の翌日、11日に県環境部の職員が現場に来ていたが、河川の担当は来ていなかった。県に対しても抗議すべきと考えるが、郵送対応では市議会が要請する内容が薄れてしまう懸念がある。そこで、今回の事故に対する議会の対応等について議会だよりで特集してはどうか。

○議会事務局 議会だよりの編集に関しては広報広聴委員会の管轄であるため、調整の上、対応してまいりたい。

○上地安之 議長 在沖米国総領事の件について、説明をいただきたい。

○議会事務局 先日から体調不良を起こしており、市長が同様の要請を申し入れた際も面会を制限しているため対応できないとの回答があったと伺っている。

○宮城克 委員 これまで郵送した決議及び意見書に返答があったことはあるか。

○議会事務局 この数年間にはなかったと記憶している。

○宮城克 委員 回答を求めるような形で郵送することを検討してはどうか。

○桃原功 委員 決議及び意見書に「泡消火剤漏出事故の原因を究明し、再発防止策を早急に講じるとともに、市民及び県民に公表すること。」と明記していることから、問い合わせ等によりその都度確認していくというのはどうか。

(「異議なし」という者あり)

○知名康司 委員長 要請方法及び要請者について、先ほどの提案どおりでよいか。

(「異議なし」という者あり)

【協議結果】

第三海兵遠征軍司令官・沖縄地域調整官及び沖縄防衛局長へ直接要請を行い、普天間航空基地司令官への要請は、第三海兵遠征軍司令官・沖縄地域調整官への要請の際にあわせて行う。他の宛先へは郵送にて対応する。要請者は、議長、基地関係特別委員長及び副委員長の3名とする。また、議会だよりで今回の事故に対する議会の取り組みについて掲載するよう、調整を行うことに決した。

○知名康司 委員長 以上をもちまして、本日の委員会を閉会いたします。

閉会時刻 (午前9時43分)